

平成16年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業）

（1）区分番号及び区分事業名

区分番号：（2）介護保険制度の適正な実施及びサービスの質の向上に寄与する  
調査研究事業

区分事業名：ユニットケア施設の評価・研究事業

社会福祉法人 浴風会

認知症介護研究・研修東京センター

**事業目的**

ユニットケアの制度化を受けて、全国的にユニットケア施設が建設されているところであるが、その中には、ユニットケアについての理解に欠け、高齢者の日常生活に対する理解も乏しい中で計画されたと考えざるを得ない施設が散見される。

ついては、当センターに調査研究班を置き、これまで建設された全ユニットケア施設を実地に調査し、ハード、ソフト両面から実施状況を評価分析し、実施事例（事例集の作成）を作成する。

併せて海外におけるユニットケアへ及び認知症介護の取組状況を視察し、今後の研修のあり方を検討する上での参考とする。

**事業概要**

- ① 全国のユニットケア施設の実地調査の実施
  - ・ 委員会の設立
  - ・ 調査項目の検討
  - ・ 実地調査
- ② 海外のユニットケア先進施設の実地調査の実施
  - ・ 調査項目の検討
  - ・ 実地調査
- ③ 事例集の作成

**事業結果**

1. 全国のユニットケア施設の実地調査の実施

- ① 学識経験者、ユニットケア実務者の委員会を設立し、全国を8ブロックに分け、ユニットケア施設の実態調査を行った。

調査項目の設定に当たっては、下記の視点を重点とした。

- ・ ハード面：高齢者の住まいとして、地域と住まい住み分け理論が正しく理解され、高齢者が住みやすい空間仕様（高さ、表示形式など）となっているかどうか。
- ・ ソフト面：高齢者の暮らしをサポートするシステムの展開が的確にされているかどうか。

- ② 上記の視点をもとに詳細な調査項目を設定し、9施設の実態調査を行った。

- ③ 調査結果を収集分析し、報告書（事例集）にとりまとめた。

2. 海外のユニットケア先進施設の実地調査の実施

オーストラリア（タスマニア）のグループホーム、ナーシングホーム、地域包括支援センター、ホスピスの高齢者施設等の視察と関係者との意見交換を行った。ユニットケアの取組について、ハード、ソフト両面にわたり資するところが多く、今後のユニットケア研修の参考としていくこととしている。

事業実施機関

社会福祉法人 浴風会 高齢者痴呆介護研究・研修東京センター  
〒168-0071 東京都杉並区高井戸西 1-12-1 電話：03(3334)2173